

教育 厚生

国保税の値上げを可決



教育厚生常任委員長
宮地 葉子

●国保税約20%値上げを認める
医療費の増加と税収の減少などで国保会計は赤字。値上げせざるを得ないとの説明がありました。これでは来年もまた値上げになるのではないかと、医療費を抑える対策はあるのかなど、委員より意見が出され、執行部からはジエネリック医薬品の活用や、特定検診の検診率の増加をめざす等の答弁がありました。
また町民の暮らしはギリギリのところであり、一般会計から補助をして、町民の命と健康を守るべきだとの反対意見もありました。
昨年の6月議会では値上げを否決していますが、今議会では可決されました。

●補正予算

★ゴミ収集委託

今までは佐賀地区のゴミ収集は部分委託でしたが、大方地区と統一し全面委託となり、委託料の調整分343万円が計上されました。委託先は「NPOはらから」です。

★伊田小フェンス整備

伊田小の校庭にイノシシが出没したため、防御フェンスの予算約40万円が計上されました。

★AED購入

4つの保育所へAEDを設置する予算172万円が計上されました。県の100%補助です。設置された後は、保母さんたちに使い方の講習をし、万一の時に備えます。



総務

被災地へ職員6人を派遣



教育厚生常任委員長
森 治史

●一般会計補正予算

★東日本被災地へ町職員を派遣

避難生活者の心のケアへの支援として、県と共に町の保健士4名と、仙台市からの要請で避難所運営へ一カ月間2名(交替)の計6名の派遣費用と、県からの交流職員1名の受け入れ旅費等150万円が計上されました。

★大方球場施設整備

高知ファイティングドッグス受け入れの準備もあり、スコアボード(点数は手掛け)とフェンスの塗装代436万円が組まれました。

★情報基盤整備事業

光ケーブル送路用電柱272本(四電246本、NTT26本)の追加と、支柱と支線の強化のための予算

2744万円が計上されました。

★津波避難施設緊急整備

大方地区の4小学校(伊田、上川口、南郷、田の口)の避難道整備計画委託費3百万円が計上されました。

佐賀地区の保育所と佐賀小中学校は漁業集落整備事業の中で対応する予定です。

★木造住宅耐震の設計費補助

60万円(20万円×3件)、改修工事補助金120万円(60万円×2件)で合計180万円の補助を行います。

●条例改正

★地方税条例の一部改正

国は、東日本大震災で被災された人達(被災地の不動産所有)への地方税の減免の救済措置を改正し、これに基づく町の条例を改正するものです。被災地から町へ移住された方が対象となります。